

タキソノミーテーブル（教育目標の分類体系：タキソノミー）

科目名 文化創造基礎（英語） （ 2025 年 7 月 30 日作成）

氏名 樋田 光代

No.1

(〇〇する 力がある) 内容 事実、概念、 手続き、メタ認知	想起する	理解する	応用する	分析する	評価する	創造する
	(再認、再生)	解釈、例示、分類、推論、比較、説明	実行、遂行	比較、組織 結果と原因	チェック、判断	生み出す、計画 できる、汎化
1 英語学習の目的	英語学習経験を整理する	英語を学ぶ意義を説明する			英語学習経験の効果を評価する	授業全体の目的を理解し計画を立てることが出来る
2 社会で求められている英語力	言語人工・外国人おかずを想起する	英語やその他の言語について使用人口を調べ説明する	日本の政策を事例に応用する	国の取り組みを分析する		日本への外国人滞在数の増加を元に言語の役割をまとめることが出来る
3 第二言語習得論	対照分析仮説を想起する	中間言語の役割を説明する		日本と他国の英語力を比較する		学習成果に与える要因について自分の傾向をまとめることが出来る
4 第二言語の認知プロセス	記憶力・音声処理の要素について考える	学習成果に影響する要因を説明する	傾向の自己分析をする	自分の認知プロセスを分析する		認知プロセスを元に、自分の学習方法について考えることが出来る
5 インプット仮説	Krashen のインプット仮説を理解する	インプット仮説の効果をカナダの環境と比較する	自己の学習経験に応用する			日本人大学生にとってのインプット方法案を提案できる

6 アウトプットの役割	Swain 仮説を理解する	仮説検証の役割を具体例と共に説明する		処理の自動化プロセスを分析する	カナダの研究の効果を評価する	日本人への応用について整理することが出来る
7 アウトプットの質の向上	言語の化石化を理解する	化石化の例を考え説明する		技能配分による懸念について分析する	アウトプットの効果を評価する	アウトプットによる効果を踏まえフィードバックの方法を提案できる
8 動機付け	外発的動機付けの例を理解する	自分の学習経験に基づき動機付けの影響を説明する			継続的動機付けの要因を評価する	継続的動機付けの方法を提案できる
9 道具的動機付けと総合的動機付け	大学生の動機事例を挙げる			動機要因を比較分析する	自分にとっての重要度を評価する	動機付けと総合的動機付けの役割について学習経験をもとにまとめることができる
10 学習の動機付けと GRIT	GRIT の定義を具体例を元に考える	GRIT が英語学習にどう関わるか説明する	GRIT スケールを適用する		GRIT が採用で重視される理由を評価する	GRIT を高めるための提案ができる
11 習得のための学習方略	マジカルナンバーを試す	記憶方法の分類施設名する	方略を自己の学習方法に応用する	短期記憶の実験を分析する	記憶方略の効果を評価する	記憶方法の違いについてまとめることができる
12 効果的な英語学習法	自分の単語記憶法について考える	メタ認知育成の方法の具体例を説明する			学習方略の効果を評価する	方略の分類とその効果についてまとめることができる
13 メタ認知トレーニングと英語学習	メタ認知トレーニングの3つのプロセスを想起する	自律的学習者像を説明する	トレーニングの実践方法を計画する	自身の学習傾向を分析する	自分と重なる部分について評価する	メタ認知トレーニングを計画する
14 解釈の違い	学習スタイルの多様性を考える	単語学習の方法を説明する		見え方の違いを体験・比較分析する	自分に合った覚え方を評価する	新しい覚え型を考える
15 個性に合った学びのあり方	自分に合う方法を考える	第二言語習得に影響する要因を説明する	読解法の提案を行う	学習者要因を分析する	自分にとっての重要要因を評価する	学習方法を計画し目標を設定する

